各位

東京都中央区日本橋本石町3丁目3-8 一般社団法人医療 ISAC 代表理事 深津 博

医療 ISAC 無料会員ご入会のご案内

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて以下に、一般社団法人医療 ISAC は2014年以来医療分野に特化したサイバーセキュリティに関する啓発活動を継続して参りました。

2021 年以来医療機関のサイバー攻撃による被害は多発しており、社会問題化しております。 さらに事態を重く見た国は、厚生労働省の医療情報システムの安全管理に関するガイドラ インの改訂や、医療法施行規則の一部改正によるサイバーセキュリティ対策の法的義務化 等により、対策を強化しております。

もとより患者の機微な個人情報を預かって医療という事業を行う医療機関には、患者に対する説明責任や電子カルテベンダ等の委託事業者に対する管理責任が発生しますが、よりその社会的な要請が強化されていると考えられます。

医療 ISAC では、医療機関に対して無料会員制度を設けており、ほぼ毎日の日本語のセキュリティニュース配信、1時間のオンライン無料相談、ダークウエブにおける当該医療機関の漏洩情報等の有無のチェック、月例セミナーや年1回の日米合同ワークショップへの参加等を、全て無料でご提供しております。

この機会に以下のページより是非ご登録をいただけますよう、ご案内申し上げます。 医療 ISAC の組織体制や活動実績の紹介資料も併せてご一読ください。

会員登録 – 医療 ISAC (m-isac.jp)

謹白

医療ISAC入会のご案内

医療ISAC体制2023 Medical ISAC Japan Organization 2023



Board Members



代表理事 深津 博 愛知医科大学医療情報部長・教授 Representative Director Hiroshi Fukatsu; Professor & Chairperson Medical Informatics, Aichi Medical University



理事 大道道大 社会医療法人大道会理事長、日本病院会副会長 **Director Michihiro Omichi**; Chairperson of Omichikai Vice President of Japan Hospital Association



理事

Director

大河内二郎 公益財団法人全国老人保健施設協会 常務理事 PCSI理事 Director Jiro Okochi; Executive Director of Japan Association of Geriatric Health Service Facilities, Director of PCSI 理事(就任予定) 宮田俊男 早稲田大学理工学術院教授、厚生労働省参与



Toshio Miyata; Professor Waseda University Faculty of Science and Engineering Counselor of MHLW





山崎文明 情報安全保障研究所主席研究員 Fumiaki Yamasaki Chief Researcher of Laboratory for Information Security Assurance



舟橋 信 元警察庁審議官、デジタルフォレンジック研究会理事 Makoto Funahashi Ex Counselor of National Police Agency, Director of Institute of Digital Forensics



PwCあらた有限責任監査法人システムプロセスアシュアランス ディレクター デジタルフォレンジック研究会理事 **Yusuke Ehara** PwC Arata Limited Liability Audit Corporation System Process Assurance Director, Director of Institute of Digital Forensics



中尾康二 情報通信研究機構(NICT)主管研究員 内閣官房セキュリティアドバイザー Koji Nakao Chief Researcher of NICT(National Institu

Chief Researcher of NICT(National Institute of Communication Technology), Security Advisor of Cabinet Secretariat

H-ISAC Japan Council Co-Chairperson(日米合同ワークショップの主催組織)



ウエンディ神流 武田薬品工業株式会社 グローバルセキュリティ統括 Wendy Kanna; Global Head of Security Governance & Oversight Information Security & Risk Takeda Pharmaceutical Company Limited

Seminars



22 seminars & 3 workshops 2014~2022

> Daily security news 2019~

*MITSF Cloud Services Exit Security Service *Security "119" Service *H-ISAC Green Report Localization Service *Security Information

WG s

10WGs 2014~2022

Service

*DMARC Consultation *Operation Management Regulation Consultation





医療ISAC活動実績



2019年 米国Health ISACと事業提携

2019年年 医療ISACと改称

会員数:法人会員 166施設(医療・福祉事業者)

> 1031名、うち医療機関508名、ITベンダー等523名 個人会員

協力企業 22社

【活動(2022~2023年)】

	活動形態	項目	実施数
	セキュリティニュース配信	デイリーセキュリティニュース、脆弱性情報、インシデント情報、分析情報	525回
	セミナー・ワークショップ	「医療ISAC Security Lecture2022/2023」・日米合同ワークショップ	18件
	講演会	医療関連組織に対するセキュリティセミナー	46回
	被害防止·最小化活動	①脅威インテリジェンス調査による通知 (うち1件は厚労省関連ドメインの侵害に関する通知)	22件
		②Fortigate脆弱性に関する通知	23件
		③クラウドファンディングによるセキュリティ支援	3件
	国内医療機関に対する無料相談	サイバーセキュリティに関する無料相談対応(1時間)	62施設
	アンケート調査	四病院団体協議会加盟病院対象のアンケート調査により、医療機関のサイバーセキュリティ対策の実態と課題を明確化 (調査対象:5596病院、回答:1144病院)、日本病院会に対するセキュリティ緊急調査、全国保険医団体連合会に対するセキュリティ緊急調査 全国老人保健施設協会に対するセキュリティ調査、人間ドック学会にに対するセキュリティ調査	5回



Leading Story

医療ISAC Daily Security News



ランサムウェア攻撃で日本最大の港が操業停止

名古屋港は、7月4日に発生したランサムウェア攻撃で名古屋港統合ターミナルシステム(NUTS)がオフラインになり、すべての荷役作業を中止せざるを得なくなりました。 名古屋港は日本最大の港であり、日本の年間貿易額の10%を占めています。

本稿執筆時点では、データ流出サイトに名古屋港をリストアップするなど攻撃を主張するランサムウェアグループは確認できていません。

訳者追記: 名古屋港でシステム障害ロシアからサイバー攻撃か(時事通信)

Data Breaches & Data Leaks

データ流出、海外にいるスイス人に影響

Swiss Review誌を購読しているスイス国民が、5月中旬の攻撃でデータを盗まれたようです。

スイス政府は、同誌の発行元であるSwissCommunity社でさえアクセスできないほど機密性の高いデータとみなしています。

刑事告訴が提出され、捜査当局は回答を求めています。

Cyber Crimes & Incidents

攻撃の増加に伴い、FBIがスワッティング事件を追跡

「スワッティング」とは、地元警察からSWATの出動を要請するために、悪意を持って虚偽の通報する行為のことで、このような事件は、しばしば被害者の不当な死につながり、国内テロリズムに分類されます

FBI は、このデータベースが増加傾向を追跡するために多数の警察署間での情報共有を促進することにより、増大する問題に対処できることを期待しています。

スワッティングは、セレブ・スワッティング、ゲーマー・スワッティング、党派スワッティング、ヘイト・スワッティングの4種類に分類され、この種の犯罪が増加しているため、組織はこの犯罪についてよく理解し、 万が一スワッティング攻撃が発生した場合に警察に説明できるようにしておくことが推奨されます。

Vulnerabilities & Exploits

Ghostscriptのバグで不正なドキュメントがシステムコマンドを実行する可能性

Ghostscriptは、AdobeのPostScript文書合成システムと、広く使われているPDFファイルフォーマットの無料オープンソースです。

Ghostscriptの最新リリースであるバージョン10.01.2には、CVE-2023-36664として追跡されるバグがあり、不正なドキュメントがテキストやグラフィックページを作成するだけでなく、レンダリングエンジンにシステムコマンドを送信してユーザーを騙す可能性があります。

ユーザーは、最新バージョンのGhostscriptを実行していることを確認する必要があります。

Trends & Reports

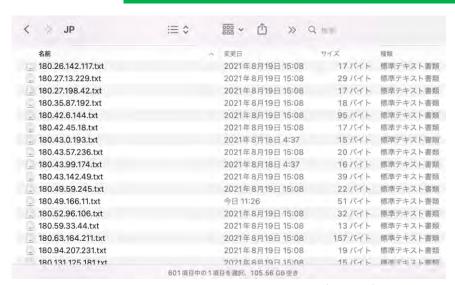
2023年第2四半期のランサムウェア動向サマリー

Cyberintは2023年第2四半期に発生した1,386件のランサムウェアインシデントを分析し、Lockbit 3.0が最も悪質な加害者であることを特定し、米国が最も標的とされた国であることが確認しました。 また、ヘルスケアセクターは、57件のランサムウェアインシデントが発生し、6番目に標的とされたセクターでした。

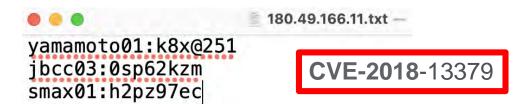
2023年の第2四半期には、ランサムウェアインシデントが大幅に増加し、ランサムウェアを目的として開発されたゼロデイ攻撃が大量に悪用されています。

この四半期は既存のランサムウェアグループにとっては大きな成功を収め、新規参入者にとっては知名度を素早くあげる方法を提供した期間となりました。

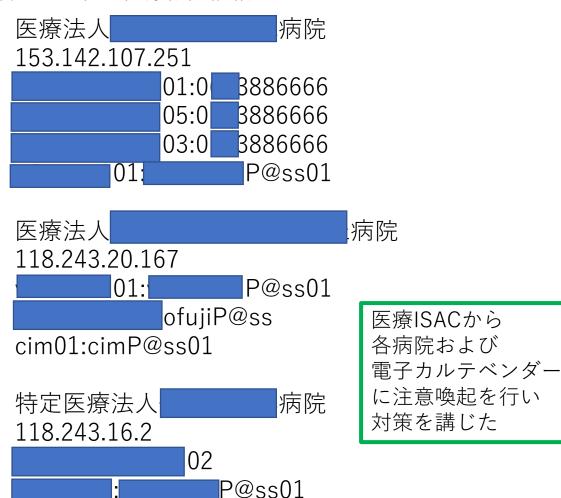
脅威インテリジェンス・ダークウエブ監視による*差し迫った脅威情報*



2021/9にダークウエブ上で公開(販売) された 米Fortinet社製のVPN機器の脆弱性情報のリスト (約8.5万件のリストの一部)



同リスト内における徳島半田病院のVPN装置に該当すると 思われるID/PW情報のブラックマーケットでの公開(販売) 鳴門山上病院の被害事例から同じ電子カルテユーザで 米Fortinet社製のVPN機器を利用していると思われるの脆弱性情報のリストに含まれる他の医療機関情報



03

医療ISAC会員になるメリット

- 1. ほぼ毎日日本語のサイバーセキュリティ関連のニュース配信(医療ISACセキュリティニュース他)を 受信できます
- 2. 月一回の医療ISACセミナー(オンライン)および年1回の日米合同ワークショップ(ハイブリッド形式) に無料参加できます(過去のセミナーのトピックス例は以下)。
 - ・厚労省ガイドライン改訂
 - ・医療法施行規則の一部改正に伴う立ち入り検査対策
 - ・最新セキュリティトピックス
 - ・会員医療機関の成功事例紹介
 - ・個人情報保護法改正への対応
- 3. 医療ISAC会員により構成される種々のワーキンググループに参加できます(無償)
- 4. 自施設のサイバーセキュリティに関して約1時間のオンライン無料相談を受けられます
- 5. 自施設のドメインに関するダークウエブ上の情報(ハッカーらのフォーラム、e-mail等の資格情報、BOT net情報、サーバへの侵入情報等)のチェックを受けられます(無料)
- 6. 医療ISACが提供する以下の有償のサイバーセキュリティサービスを受けられます
 - 1) MICSS
 - 2) 医療ISAC規定認証
 - 3) 医療ISAC脅威インテリジェンス診断(Attack Surface診断、サプライチェーンリスク診断等)
- 7. 医療ISACの会員で構成される信頼できるじしせコミュニティの一員として、当事者ならではの最新で具体的な情報、他施設での取組状況や課題、被害施設における実態等の情報を得ることができます
- 8. 医療ISACの会員になることにより、自施設がサイバーセキュリティに対して積極的に取り組んでいることを対外的に明示できます